

なごやか地域福祉

ニュース

発行：なごやか地域福祉 2029 策定事務局

パブリックコメントを実施します！

「なごやか地域福祉2029（案）」は、地域共生社会の実現が求められる中、地域の誰もが生きがいや役割を持って、つながり支えあいながら、自分らしく暮らし活躍できる、より豊かな地域社会を目指し、地域のすべての構成員が主体的に関わっていくための方向性を指し示す計画として、社会福祉法に基づき策定するものです。

この計画のパブリックコメントを以下のように実施します。ぜひご意見をお寄せください。

<意見募集期間>

令和7年1月24日（金曜日）～令和7年2月25日（火曜日）（必着）

<計画案の配布場所>

○市民情報センター（市役所西庁舎1階）

○区情報コーナー

○区社会福祉協議会

○名古屋市公式ウェブサイト（掲載は令和7年1月24日から）

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000180822.html>

トップページ>市政情報>パブリックコメント>意見募集中の計画等>「なごやか地域福祉2029（案）・第2期名古屋市成年後見制度利用促進計画（案）」に係る意見募集

○市社会福祉協議会ウェブサイト

※点字版、音声変換用テキストファイルをご希望の方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

■健康福祉局地域ケア推進課（☎：052-972-2548）

・住所 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

・ファックス 052-955-3367

・電子メール a2548-02@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

<提出方法>

提出用紙又は任意の用紙に、住所、氏名、年齢をご記入の上、郵送・ファックス・電子メールでご提出いただくか、ご持参ください。

公式ホームページでは、計画の策定及び
推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



なごやか地域福祉 2029（案）について

アンケート調査や現地視察等で明らかとなった地域の様々な福祉課題・生活課題やこれまでの懇談会・作業部会での議論等を踏まえながら、基本となる理念と目標とともに、3つの「取り組むべき方向性」を定めました。

課 題

私たちの地域をとりまく現状と福祉課題・生活課題

① 地域でのつながりの希薄化と孤独・孤立の状態にある人の問題

- ・孤独・孤立の状態に陥りやすい高齢者世帯が増加し、地域のつながりの希薄化や孤独・孤立の状態にある人の問題が社会問題化する中、周囲と気かけ合う仕組みづくりが必要
- ・大規模災害に備えた地域づくり等が必要

② 支援が必要な人と必要な支援が結びついていないことの問題

- ・生活課題の多様化・複合化により、支援が必要な状態でも支援が届いていない人や、既存の支援の枠組みでは適切に対応できない事例が発生する中、様々な困りごとを包括的に受け止め、寄り添う支援が必要
- ・権利擁護に関する認知度の向上が必要

③ 地域福祉活動への参加と多様な担い手確保の問題

- ・コロナ禍により地域福祉活動が縮小し、担い手確保がこれまで以上に困難な状況にある中、地域住民の関心や活動への参加意欲の高揚が必要
- ・社会福祉法人や商店等に地域福祉活動へ参画してもらうための取組みが必要

連携・協働・ネットワーク体制の問題

〈基本理念〉人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できる都市、名古屋を目指して
〈基本目標〉地域共生社会の実現に向けて、市民、地域に関わる多様な団体、社会福祉協議会や行政が互いに手を携えて連携・協働し、誰もが役割を持って、つながり支えあいながら、自分らしく暮らし活躍できる地域を目指します

取 組 む べ き 方 向 性

1 つながり支えあう地域をつくる

～孤独・孤立の状態を生まない地域を目指す～

① 孤独・孤立の状態を生まない地域づくり

② 困ったときに支えあい助けあえる地域づくり

2 一人ひとりの「暮らし」に寄り添い支える仕組みをつくる

～支援を求めている人、手助けが必要な人を支える～

③ 様々な困りごとを包括的に受け止め支える仕組みづくり

④ 地域で安心して暮らし続けるための支援の仕組みづくり（権利擁護の推進）

3 地域で活躍する多様な担い手を育む

～人、場、活動、情報などの社会資源がつながる地域づくり～

⑤ 「支え手」「受け手」の関係を超えて誰もが活躍できる地域づくり

⑥ 多様な主体の参画と協働による地域福祉の推進

【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367